

ふるさと探訪



[38]

昔から付近に住む大槻株の人は、弘和さん、秋野さん、隆さん、剛さんで、年齢は40代から80代。大槻株の人は、隆さん(81)による。よって厚く護持され、山頂付近にあったが、参拝に不便なため、現在の場所に移転された。

西坂町高松地区の小高い山のふもとに「大槻株の天神さん」と呼ばれる。江戸時代の嘉永元年(1848)の創建

西坂町「大槻株の天神さん」

現在の社は明治35年に19戸あった大槻株の寄進で建立した。建築したのは、祐紀さんの曾祖父に当たる祐右衛門さんだった。祭礼日について隆さんや博之さん(80)の

大槻株の人たちが信仰する天満宮

創建は江戸末期の嘉永元年

かつての祭礼日は8月24日

営まれた。

天満宮を守り継いでいる大槻株は現在、9戸。世帯主は祐紀さんと博之さん、次郎さん、紀恵子さん、和之さん、

株内の人は減ったが、今後も守り継ぎたい

(高橋)



天満宮の祭礼を執り行う大槻株の人たち(写真はいずれも西坂町で)



生(なま)の一字書きを奉納する風習は今も続けられている。

今年の祭礼日には、大槻株の人たちは午前中に天満宮周辺の草刈りと社の掃除に取り組み、夕方の祭礼時に「皆さんの祭礼を続けていきたい」と話している。

話では、本来は8月24日だったが、稲刈りなどの農作業で忙しくなるため、7月24日に変更された。ところが、24日は物部町下市の天業成就を願う、小中学校は、全員で般若心経を

話してきた。

昭和45年頃から、徐々に祭礼の行事が縮小されてきた。

また、祐紀さん(55)宅には家系図が残っており、大槻一族はかつて菅原姓だったことが記されている。このこ

らしい。

また、祐紀さん(55)宅には家系図が残っており、大槻一族はかつて菅原姓だったことが記されている。このこ

らしい。

また、祐紀さん(55)宅には家系図が残っており、大槻一族はかつて菅原姓だったことが記されている。このこ

らしい。

また、祐紀さん(55)宅には家系図が残っており、大槻一族はかつて菅原姓だったことが記されている。このこ

らしい。

また、祐紀さん(55)宅には家系図が残っており、大槻一族はかつて菅原姓だったことが記されている。このこ

らしい。

また、祐紀さん(55)宅には家系図が残っており、大槻一族はかつて菅原姓だったことが記されている。このこ

らしい。